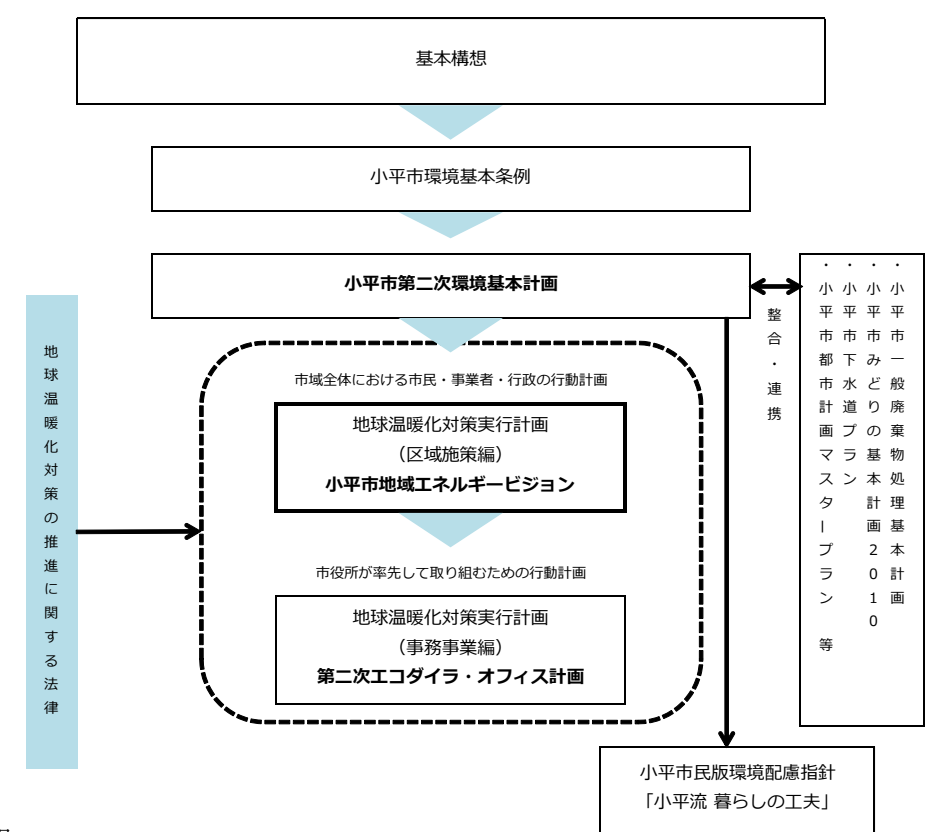


小平市第二次環境基本計画、小平市地域エネルギービジョン及び 第二次エコダイラ・オフィス計画の令和元年度実施状況等の概要について

1 計画の概要

(1) 計画の位置づけ

小平市第二次環境基本計画は、小平市環境基本条例第7条に基づき策定したものであり、基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けた部門計画として、総合的・計画的に環境施策の具体的な取組を推進するための計画です。
また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した小平市地域エネルギービジョン及び第二次エコダイラ・オフィス計画は、小平市第二次環境基本計画の地球環境分野の基本目標である「地球にやさしい暮らし方をめざすまち こだいら」を推進する個別計画として位置づけています。



(2) 計画期間

各計画の期間は、下表に示すとおりです。
小平市地域エネルギービジョン及び第二次エコダイラ・オフィス計画に合わせて、小平市第二次環境基本計画の計画期間を1年前倒して令和2年度までとします。

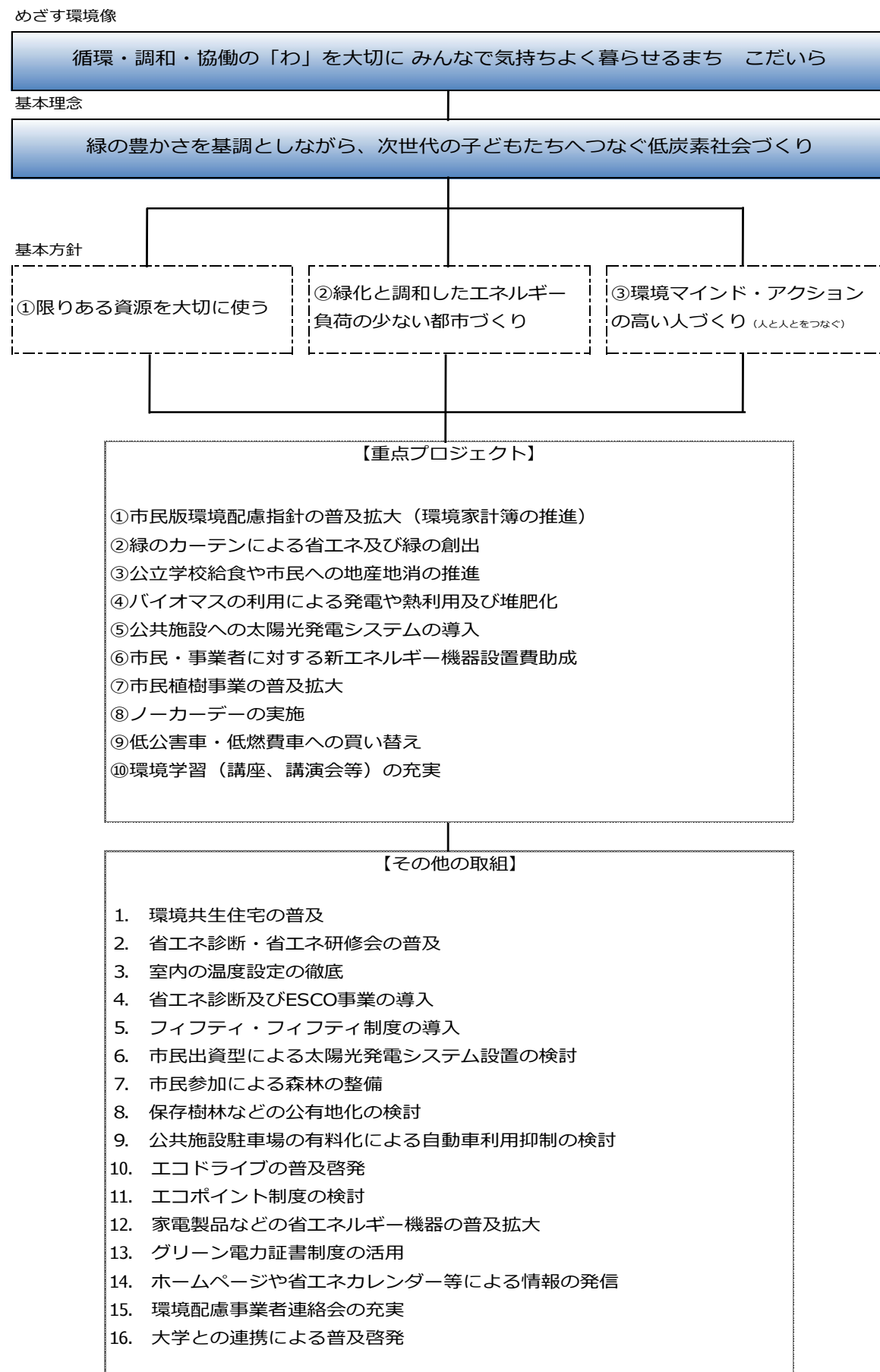
年度	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022
小平市第二次環境基本計画	H24 (2012) ~ R3 (2021)										(仮称) 小平市第三次環境基本計画策定
小平市地域エネルギービジョン	H21 (2009) ~ R2 (2020)										中間見直し
第二次エコダイラ・オフィス計画	H22 (2010) ~ R2 (2020)										

(3) 施策の体系

小平市第二次環境基本計画では、5つの分野における基本目標に対し142の取組を進めます。

めざす環境像【循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら】			
基本目標	施策の方向	環境施策	取組数
I【地球環境】 地球にやさしい暮らし方をめざすまち こだいら	1 低炭素社会の形成	省エネルギーの推進	6
		新エネルギーの導入促進	3
	2 循環型社会の形成	環境に配慮した自動車利用の促進	5
		廃棄物の減量 廃棄物の適正な処理の推進	13 4
II【自然環境】 水と緑を守り自然と調和したまち こだいら	1 水辺環境の整備	用水路の保全・整備	4
		2 緑の保全・回復・創出	緑のネットワークの形成
	民有地の緑化		3
	公共施設の緑化		2
	農地の保全と活用		7
	3 生き物との共生	公園・緑地の整備	4
		生き物の生息空間の保全・創出	8
	III【都市環境】 安全で快適な環境を実現するまち こだいら	1 安全な都市空間の整備	道路ネットワークの整備の推進
歩行者空間の整備 防災対策の推進			6 5
2 美しいまちの創造		景観の保全・形成	3
		環境美化の推進	9
3 環境に配慮したまちづくりの推進		都市整備における環境配慮	5
		公共交通機関の利用促進 水循環の促進	2 4
IV【生活環境】 健康で安心して暮らせるまち こだいら	1 公害対策	都市型公害対策の推進	6
		環境中の放射性物質に関する状況把握と適正な対処	1
	2 生活環境の保全	生活型公害・苦情等対策の推進	5
3 化学物質対策	化学物質対策の推進	3	
V【参加と協働】 みんなが環境について考え、行動するまち こだいら	1 環境教育・環境学習の充実	学校における環境教育・環境学習の充実	4
		あらゆる主体・世代に対する環境学習の充実	9
	2 市民・事業者・民間団体・市のパートナーシップの形成	環境保全活動の推進	5
パートナーシップの形成と連携の充実		5	
3 環境に関する情報の充実	環境情報の収集と提供の充実	3	
合計			142

小平市地域エネルギービジョンでは、10の重点プロジェクトと16のその他の取組により市全体のエネルギー消費量の削減を図ります。



第二次エコダイラ・オフィス計画では、7項目に沿った取組により、市の事務事業における二酸化炭素排出量の削減を図ります。

①省エネルギーの推進

具体的取組事例
昼休み、離席時には消灯を徹底する。
残業時は、照明の点灯は必要最小限度にする。
トイレ・給湯室等の照明は退室時に消灯する。

②新エネルギーの推進

取組事例
太陽光発電等自然エネルギーや未利用エネルギーの導入を推進する。
コージェネレーションシステム等エネルギー高効率利用が図れる設備の導入、改修を検討する。

③環境に配慮した公共施設の整備

取組事例
建設廃棄物の分別、再資源化を推進する。
建築物の修繕や解体においては、フロンや代替フロン、アスベスト等の適正回収・処理に努める。
森林資源の保全のため、型枠工事における新工法、新材料の採用を推進する。

④環境に配慮した自動車の利用

取組事例
自転車を優先的に利用する。
ノーカーデーを徹底する。
公共交通機関を優先的に利用する。

⑤廃棄物の発生抑制

取組事例
使用可能な備品類等は、「リユースシステム」を活用し、他課での再使用を図る。
購入した物品の長期使用に心がける。
不要品を廃棄する前に、他の活用方法等を検討する。

⑥グリーン調達（環境に配慮した製品の利用促進）

取組事例
代替手段があるかどうか検討する。
必要なものを必要数だけ購入するよう計画する。
常時使用しないものは、他課などから借用できないか検討する。

⑦環境に配慮する意識の高い職員の養成

取組事例
環境に関する研修を実施するとともに、体系化を検討する。
コンピュータネットワークとグループウェアを活用し、エコオフィスの取組事例や環境に関する情報等の提供、啓発を行う。
一斉清掃の分別立会いを通じて分別の徹底化を図る。

2 令和元年度実施状況の概要

(1) 小平市第二次環境基本計画の実施状況（資料 1-② P3～6）

重点施策 1 「太陽光発電設備などの新エネルギー機器設置費用の助成の継続」		環境政策課																												
<p>■取組内容</p> <p>太陽光発電設備、家庭用燃料電池（エネファーム）設置者に対し、設置費用の一部を助成しました。</p> <p>■新エネルギー機器設置費用の助成実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電システム</td> <td>67 件</td> <td>54 件</td> <td>56 件</td> </tr> <tr> <td>エネファーム</td> <td>181 件</td> <td>154 件</td> <td>145 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>248 件</td> <td>208 件</td> <td>201 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※小平市地域エネルギービジョン中間見直し進捗状況報告（令和元年度実績）（資料 1-③ P9 今後の方向性等）参照</p> <p>■数値目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>目標年度</th> <th>目標数値</th> <th>令和元年度実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数</td> <td>令和 3 年度</td> <td>累計 2,000 件</td> <td>累計 1,275 件</td> <td>63.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>引き続き、市民・事業者に対して、太陽光発電システム及びエネファームを設置する際の費用の一部を助成することによりその設置を推進し、家庭部門・業務部門でのエネルギー消費量の削減を図ります。</p>						平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	太陽光発電システム	67 件	54 件	56 件	エネファーム	181 件	154 件	145 件	合計	248 件	208 件	201 件	内容	目標年度	目標数値	令和元年度実績	達成率	市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数	令和 3 年度	累計 2,000 件	累計 1,275 件	63.8%
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																											
太陽光発電システム	67 件	54 件	56 件																											
エネファーム	181 件	154 件	145 件																											
合計	248 件	208 件	201 件																											
内容	目標年度	目標数値	令和元年度実績	達成率																										
市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数	令和 3 年度	累計 2,000 件	累計 1,275 件	63.8%																										
重点施策 2 「自転車専用レーンの設置及び拡大の検討」		交通対策課																												
<p>■取組内容</p> <p>あかしあ通りの小平駅南口交差点から仲町交差点までの自転車走行空間（延長 591.3 メートル、幅 1.5 メートル）の延伸について、関係機関との協議を検討中です。自転車ナビマークの整備については、交通管理者と連携しながら整備を進めました。</p> <p>■自転車ナビマーク整備距離（総延長）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,000m (37,200m)</td> <td>3,050m (40,250m)</td> <td>6,410m (46,660m)</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>自転車専用レーンについては、様々な課題から実施が困難な状況ですが、これに代わるものとして、自転車ナビマークの整備の推進などにより、自転車利用を促進し、自動車による二酸化炭素排出量を削減します。</p>					平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	8,000m (37,200m)	3,050m (40,250m)	6,410m (46,660m)																				
平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																												
8,000m (37,200m)	3,050m (40,250m)	6,410m (46,660m)																												
重点施策 3 「環境家計簿の普及を図るなど、家庭における省エネルギーの取組を促進」		環境政策課																												
<p>■取組内容</p> <p>市民団体エコダイラネットワークと協働して、各種イベントでアプリ版環境家計簿を中心に利用を呼び掛けるとともに、市報、市ホームページで周知し、普及啓発に努めました。</p> <p>また、令和元年 7～12 月の 6 か月を「チャレンジ省エネ 2019 in こだいら」期間として設定し、電気・ガスの使用による CO2 排出量を前年同月期間より削減することを目標に、環境家計簿参加者に省エネに取り組んでいただきました。40 世帯が目標を達成し、4.6t-CO2 を削減することができました。本取組は、「東京 2020 大会における市民による CO2 削減・吸収活動」に登録しており、東京 2020 大会組織委員会に活動成果を報告しました。</p> <p>■環境家計簿参加者実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人世帯</td> <td>1,527 世帯</td> <td>1,721 世帯</td> <td>1,999 世帯</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>9 事業所</td> <td>11 事業所</td> <td>11 事業所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,536 件</td> <td>1,732 件</td> <td>2,010 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>■数値目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>目標年度</th> <th>目標数値</th> <th>令和元年度実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境家計簿の利用件数</td> <td>令和 3 年度</td> <td>1,000 件/年</td> <td>2,010 件/年</td> <td>201.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>各種イベントや市報、市ホームページ等により、環境家計簿の普及啓発に努め、様々な世代による参加者の拡大を図ります。環境家計簿の活用によって自らのライフスタイル、ビジネススタイルを再点検し、家庭生活及び事業活動に伴って生じる二酸化炭素排出量の削減につなげます。</p>						平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	個人世帯	1,527 世帯	1,721 世帯	1,999 世帯	事業所	9 事業所	11 事業所	11 事業所	合計	1,536 件	1,732 件	2,010 件	内容	目標年度	目標数値	令和元年度実績	達成率	環境家計簿の利用件数	令和 3 年度	1,000 件/年	2,010 件/年	201.0%
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																											
個人世帯	1,527 世帯	1,721 世帯	1,999 世帯																											
事業所	9 事業所	11 事業所	11 事業所																											
合計	1,536 件	1,732 件	2,010 件																											
内容	目標年度	目標数値	令和元年度実績	達成率																										
環境家計簿の利用件数	令和 3 年度	1,000 件/年	2,010 件/年	201.0%																										

重点施策 4 「市民ボランティアによる花いっぱい運動の推進」		水と緑と公園課																		
<p>■取組内容</p> <p>市内における花いっぱい運動のさらなる普及と、市民の緑化意識の向上を図るとともに、市民が主体となった“緑豊かなまちづくり”を推進することを目的として「こだいら花いっぱいプロジェクト」を実施しました。小平駅前、公園及びび用水路の親水エリアの緑化を行い、市民ボランティアによる花いっぱい運動を進めました。</p> <p>■こだいら花いっぱいプロジェクト活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動回数</td> <td>10 回</td> <td>10 回</td> <td>10 回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>340 名</td> <td>380 名</td> <td>370 名</td> </tr> <tr> <td>植栽数</td> <td>13,400 苗</td> <td>13,620 苗</td> <td>12,380 苗</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>市民、企業、団体との協力関係を維持し、「こだいら 花いっぱい プロジェクト」を継続することで、市民一人ひとりの緑化意識の向上を図ります。</p>						平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	活動回数	10 回	10 回	10 回	参加者数	340 名	380 名	370 名	植栽数	13,400 苗	13,620 苗	12,380 苗
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																	
活動回数	10 回	10 回	10 回																	
参加者数	340 名	380 名	370 名																	
植栽数	13,400 苗	13,620 苗	12,380 苗																	
重点施策 5 「小平グリーンロードを南北に繋ぐ新たなみどりの骨格づくり」		水と緑と公園課 道路課																		
<p>■取組内容</p> <p>あかしあ通りグリーンロード化基本計画に基づき、小平駅南口ロータリー植栽部の花苗の植替えを 2 回（春、秋）行いました。また、あかしあ通りに植栽されているニセアカシアのうち、老朽化が著しいもの、根上がりの原因となっているもの及び台風の影響により倒木・幹折れした 10 本について陽光桜に植え替えました。</p> <p>■今後の方向性</p> <p>引き続き、小平駅南口ロータリー植栽部の花苗の植替えを行うとともに、あかしあ通りの街路樹に関する基本的な考え方にに基づき、街路樹の検討及び整備を推進し、みどりの創出に努めます。</p>																				
重点施策 6 「動植物の生態調査の実施」		水と緑と公園課 環境政策課																		
<p>■取組内容</p> <p>市民ボランティアの雑木林調査隊 18 名及び学識経験者の森のカルテづくりアドバイザー 2 名により、平成 29 年度から平成 30 年度にかけて実施した、小川町一丁目の市有樹林での植物や昆虫等の調査結果を、「森のカルテ 小川町一丁目市有樹林編」としてまとめ、市民に広く発信しました。</p> <p>また、市民が自宅の庭先やマンションのベランダなどで、生き物の新たな生息空間としてのビオトープを創出できるよう、平成 29 年度から平成 30 年度にかけて、公募市民等へ小鳥などが好む苗木を配布し、令和元年度は観察モニターとして観察してもらいました。</p> <p>そのほか、市全域を対象に市民から生き物の目撃情報を募集し、お寄せいただいた情報等を基に「こだいら生き物マップ」を作成しました。</p> <p>■身近なビオトープづくり参加実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苗配布数</td> <td>92 株</td> <td>80 株</td> <td>0 株※</td> </tr> <tr> <td>観察モニター報告数</td> <td>8 件</td> <td>20 件</td> <td>0 件※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度を観察期間、令和 2 年度を報告期間としたため、配布数及び報告数が 0 となっている。</p> <p>■今後の方向性</p> <p>これまで進めてきた「森のカルテづくり」、「身近なビオトープづくり」、「市民参加型生き物調査」等の結果を次期環境基本計画に包含する生物多様性地域戦略や次期みどりの基本計画の策定に活かします。</p>						平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	苗配布数	92 株	80 株	0 株※	観察モニター報告数	8 件	20 件	0 件※				
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																	
苗配布数	92 株	80 株	0 株※																	
観察モニター報告数	8 件	20 件	0 件※																	

(2) 小平市地域エネルギービジョンの進捗状況

①市のエネルギー消費量の推移（資料1-③ P2）

最新の集計結果である平成29年度の市のエネルギー消費量は5,773テラジュールで、基準年度である平成17年度と比較して33.8%減少し、最終年度（令和2年度）の目標を達成することができました。



②重点プロジェクトの評価（資料1-③ P4）

予定より進んでいるプロジェクト(=A)は4つ、予定通り進んでいるプロジェクト(=B)は3つ、予定より遅れているプロジェクト(=C)は3つと評価しました。

プロジェクト名	成果指標	R1 目標値	R1 実績値	実績/目標	評価※
①市民版環境配慮指針の普及拡大	WEB・アプリ版環境家計簿の参加世帯(事業所)数	843件	2,010件	238.4%	A
②緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出	公共施設における緑のカーテン設置数	60施設	71施設	118.3%	A
③公立学校給食や市民への地産地消の推進	小学校給食における地場産農産物の納入率	24.5%	31.4%	128.2%	A
④バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化	食物資源循環事業における参加世帯数	1,000世帯	1,000世帯	100.0%	B
⑤公共施設への太陽光発電システムの導入	公共施設への太陽光発電システム設置数	45施設	38施設	84.4%	C
⑥市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成	市民・事業者への太陽光発電システム助成件数	1,687件	1,275件	75.6%	C
⑦市民植樹事業の普及拡大	苗木の配布数	1,100本	1,000本	90.9%	C
⑧ノーカーデーの実施	冬期自動車使用抑制期間中のノーカーデーにおける庁用車使用回数	680回(以下)	658回	96.8%	B
⑨低公害車・低燃費車への買い替え	庁用車の低公害車・低燃費車の導入率	93.5%	89.9%	96.1%	B
⑩環境学習(講座・講演会等)の充実	環境学習(講座・講演会等)の参加者数	1,100名	1,317名	119.7%	A

※令和元年度目標値に対し、5%を上回る実績となった取組をA、±5%以内の実績となった取組をB、5%を下回る実績となった取組をCと評価

(3) 第二次エコダイラ・オフィス計画の実施状況

①施設ごとの二酸化炭素削減状況（資料1-④ P2）

市の施設における二酸化炭素排出量の令和元年度実績は735万6千403キログラムCO₂で、基準年度である平成17年度と比較して10.6%減少しました。

施設名称等	平成17年度(基準年度)	令和元年度実績	削減量(R1-H17)	令和2年度(最終目標)	
庁舎	690,510	500,144	△190,366	基準年度比 -25%	
地域センター	338,183	268,426	△69,757		
小平元気村おがわ東	76,319	85,533	9,214		
市民文化会館	960,089	744,950	△215,139		
保育園	317,623	291,958	△25,665		
健康福祉事務センター	56,736	45,220	△11,516		
福祉会館	187,186	237,475	50,289		
健康センター	89,445	72,152	△17,293		
公共下水道管理センター	92,522	49,893	△42,629		
小学校	2,133,280	2,067,760	△65,520		
中学校	610,419	721,494	111,075		
学校給食センター	385,465	423,165	37,700		
市民総合体育館	595,834	484,976	△110,858		
公民館	295,123	217,125	△77,998		
図書館	600,837	470,200	△130,637		
その他施設※	609,788	606,666	△3,122		
庁用車	ガソリン	176,914	61,820		△115,094
	軽油	11,043	7,446		△3,597
合計	8,227,316	7,356,403	△870,913		

②二酸化炭素排出量の推移（資料1-④ P8）

計画期間である平成22年度以降、平成23年度には最大の減少率となった後、横ばい傾向で推移しています。令和元年度は前年度と比較すると、二酸化炭素排出量が減少しました。

	二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	対基準年度比増減率	対前年度比増減率
平成17年度(基準年度)	8,227,316	-	-
令和2年度(最終目標)	6,161,756	-	-
平成22年度	8,200,654	△0.3%	-
平成23年度	7,077,935	△14.0%	△13.7%
平成24年度	7,176,155	△12.8%	1.4%
平成25年度	7,319,114	△11.0%	2.0%
平成26年度	7,191,846	△12.6%	△1.7%
平成27年度	7,159,251	△13.0%	△0.4%
平成28年度	7,410,221	△9.9%	3.5%
平成29年度	7,561,541	△8.1%	2.0%
平成30年度	7,401,376	△10.0%	△2.1%
令和元年度	7,356,403	△10.6%	△0.6%